



Harley-Davidson RAINBOW

●天田昭治 Shuji Amada

「フェラーリなんか乗るより、よっぽど幸せ」

この前筑波サーキットの走行会で初めて走らせただけで、久しぶりにレーサーらしいレーサーに乗ったよ。とにかく軽い。車重もそうだし、動きも含めてね。まだ慣らし運転だからこれからだけど、コイツは完全にオレの趣味バイクだから乗ってとても楽しい。おそらくメインコースはウチから近い筑波になるけど、ゴー&ストップの多いショートコースだから、回転よりも太いトルクが効くんだ。AMAで日本の600ccに対抗しようとしているみたいだけど、筑波みたいなコースなら結構イケるんじゃないかなあ。

レース参戦はまだ未定だけど、なにかを目指し勝つために選んだバイクじゃないから、じっくり仕上げていきたい。バイクって乗れば何でも楽しいけど、個人的にはやっぱりレーサーが一番好き。レーサーって誰でもまともに走らせられる乗り物じゃないでしょ？ そういう意味で、オレは幸せな立場の人間なんだと思う。価値観の違いはあるけど、個人的にはフェラーリ乗るより楽しいからね。



走行会では、否応無しに周りから注目を浴びたXBRR。114オクタン以上のガソリンが必要だが間に合わず、アプガスとハイオクを混ぜテストした。ポジションを自分仕様に変えたいとは、天田さんの弁。若かりし頃は選手権レースにいそしんでおり、以前はスポーツスターカップに883やビューエルで参戦も。そんな走れる兄貴を慕い、レインボーを訪れるビューエル乗りは多い。

マニア心をくすぐる パーツで魅せるレインボー

写真は天田さんの街乗り用XB12Rだが、ラジアルマウントの最新オーリスにモノブロックのブレンボと、強烈な組み合わせ。リアショックもオーリスだ。指1本でフルロック可能なフロントブレーキは、サーキット向けと言えるだろう。最新レーシングパーツを着る贅沢な仕様だ。



■レインボー
phone 029-822-6666
茨城県土浦市永国1059-6



カウルもルックス面では死になると言う長岡さん。純正カウルはもったいないので保存し、もじコンバクトなオリジナルデザインでシニアファンを回りたとか。

XBRRオーナーインタビュー

エンスージアスト、かく語りき

世界50台限定のXBRRを購入できる幸運な日本人は、たった5名のみ。

そのうちの4台は、すでにオーナーのもとヘデリバリーされた。

いずれもビューエル正規販売店の関係者ばかり。バイク屋も欲しがる限定モデル、ということだ。ここではそんなエンスージアストたちの感想を聞いてみた。

Buell LEO

●長岡 敬 Takashi Nataoka

ショップで購入したため僕個人の車両じゃありませんし、まだ走らせていないから何とも言えませんが……かなり割り切った作りであることは感じますね。レーシングマシンだから当然なのでしょうが、部分的に市販モデルのパーツを流用しているから、その辺りに手を加え、さらに乗りやすくすることはできると思います。例えばステップですが、あの作りのままでは意外に滑りやすいので、ヤスリでメを立ってあげるという。またバネ下の軽量化を狙ったフロントブレーキのZTLシステムも、ウチがオリジナルパーツとして出しているローター用のチタンボルトを使えば、軽量化とともにジャイロ効果の減少もでき、さらにいいフィリングになるはず。細かな話ですが、レーシングマシンにはうってつけのパーツだと思いますよ。

あとは一度全体を組み直して、パーツが本来の性能を十分に発揮できるようにセットアップしてあげたい。ナットの締め方ひとつで、バイクは動きが変わりますからね。

「走りやすくできる要素は、まだあると思う」



日本一のビューエル販売店は レース活動も積極的

ビューエルレオは、日本一のビューエル販売台数を誇る専売店。レースにも積極的で、鈴鹿や岡山国際サーキットで行われるワンメイクレースでは、優勝を含めた入賞経験も多数。基本は一般ユーザーと同じ立場で遊ぶことで、マシン作りもコストを考えた仕様を意識している。

■ビューエルレオ
phone 075-721-0051
京都府京都市左京区上高野古川町18-2

